

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社第58期中間報告書“ANA VISION”をお届けするにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当中間期においては、国内線旅客、国際線旅客、貨物郵便の3事業とも増収となりましたが、燃油費をはじめとする費用の増加により相殺され、ホテル事業が連結対象外になったことから、営業利益、経常利益は前年実績を若干下回りました。純利益はホテル事業資産の売却を特別利益に計上した結果、過去最高となっています。

現在、国内線でタッチ方式の新搭乗スタイルの導入を進めています。すべてのお客様にICや2次元バーコードを保安検査場と搭乗口でタッチして『簡単・便利』にご搭乗頂けるように致します。

また、国内線最上級クラスのスーパーシートを全面的に見直し、来年4月から装い新たに『プレミアムクラス』としてご提供してまいります。前方座席との間隔を拡大した『プレミアムクラス』をほぼすべての路線・機材に設置し、時間帯にかかわらず全便で機内食をお出しするなどサービスを刷新致します。

ANAでは、お客様の声に徹底してこだわり、多様なサービスを展開して、皆様と一緒に新しい時代を築いてまいりたいと考えています。

今後のIR活動につきましても株主の皆様のご意見を賜りたく、ご多忙とは存じますが、アンケートにご協力頂けましたら幸いです。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2007年11月

代表取締役社長

山元 肇生

